



<ラムサール通信>

2020年7月4日発行 第201号

●第30回ラムサールセンター総会について●

ラムサールセンター(RCJ)の第30回総会を下記のとおり開催します。組織体制が変わり、ラムサールセンターは今年で発足から30周年を迎えることとなります。1年間の歩みを評価し、新年度の活動方針を検討します。

【日時】: 2020年8月22日(土) 13時半~15時半

今年度の総会に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響等を鑑みて、Zoomを用いたオンラインで実施いたします。遠方にお住まいの方や都合が合わなかった方など、これまで総会に参加されたことのない会員も、ぜひこの機会にご参加ください。

Zoom ミーティングナンバー: 811 1845 4283

ミーティングパスワード: ramsar0822

※Zoomでの参加方法にご不明点がある方は、8月21日(金)までに以下のメールアドレスにお問い合わせください。

※別添にZoomオンライン会議の参加方法について掲載しておりますので、ご参照ください。

●第108回<ワイズユース>ワークショップ(8月2日)開催のお知らせ●

RCJの第108回<ワイズユース>ワークショップを、下記のとおり開催します。

今回はZoomを用いたオンラインでの開催を試みたいと思います。今回は会員の寺田佐恵子さんに、過去に研究されていたアフリカ大型類人猿の湿地利用についてお話いただきます。どなたでもご参加いただけますので、多くの方の参加をお待ちしています。

【日時】: 2020年8月2日(日) 14時~15時30分

【会場】: オンラインでの開催

Zoom ミーティングナンバー: 879 2181 4555

ミーティングパスワード: Wuws107

【プログラム】「アフリカ大型類人猿ボノボの湿地利用」

寺田佐恵子さん(日本学術振興会特別研究員PD/東京大学農学生命科学研究科)

【経歴】京都府出身。理学博士。専門は生態学、保全科学。東京大学農学部及び同農学生命科学研究科修士課程(農学修士)、JICA職員を経て、京都大学理学研究科にて学位取得。人事交流として、環境省自然環境局にてワシントン条約(CITES)を2年間担当。国立環境研究所研究員を経て現職。アフリカゾウの保全・獣害と人々の共存をテーマに、現地調査と共に政府代表団員としてのCITES会合参加も継続。2019年より、CITES動動物委員会アジア地域代表代理及び日本学術会議若手アカデミー会員。

【要旨】

中部アフリカのコンゴ盆地には、熱帯林と共に広大な湿地帯が広がっている。このコンゴ盆地には、絶滅危惧種であるアフリカ大型類人猿（ゴリラ、チンパンジー、ボノボ）が生息している。大型類人猿の湿地利用については、ゴリラの湿地性草原での採食は知られていたが、チンパンジー・ボノボについてはマイナーな行動と考えられがちであった。しかし、2000年代になり、コンゴ盆地北西部の湿地帯で、新たにボノボとチンパンジーの個体群の生息が報告され、広大なコンゴ盆地の湿地の価値への関心が高まった。

本発表では、アフリカ大型類人猿の中でも特に情報が少ないボノボ（*Pan Paniscus*）について、ボノボの群れが湿地林をどのように利用しているのかを紹介する。ボノボの長期調査地であるコンゴ民主共和国ワンバにおいて、霊長類学者が蓄積してきた行動観察データを用いて、ボノボの一集団が①成熟林②二次林及び農地③湿地林を通年でどのように利用するのかを調べた。その結果、ボノボの群れは、成熟林を主に利用するものの、特定の月のみ、成熟林よりも湿地林を選択的に利用した。また、その月には、湿地林でのみ得られる果実やキノコを主に食し、そのまま湿地林で夜間を過ごす日が多かった。湿地林は非湿地とは異なる多様な餌資源をボノボに提供しており、湿地林のみでもボノボは一定期間生息できることが示された。未踏査の湿地帯にも、ボノボが生息している可能性を支持する結果である。発表ではボノボの人為的な生息地利用についても紹介したい。湿地を含むアフリカ熱帯林での、人々と野生生物の生きざまへの関心を高めていただければ幸いである。

●2020年度の会費の納入をお願いします●

コロナ禍の中、慌ただしく新年度が過ぎていきます。RCJ会員の皆さん、会費（年8,000円）の納入をお願いします。RCJの登録会員数は現在95人ですが、2018年度の会費を納めた方は3月31日現在31人で納入率は29.5%と、3割を切る状況となりました。

ボランティア団体であるRCJの活動の根元を支えるのは、活動に賛同する個人の方からの会費です。会費納入によるラムサールセンターの活動へのご協力をよろしくをお願いします。

なお、2019年度の会費を納めたかどうかわからない方は、メールまたはファクスでお問い合わせください。新しく会員になってくださる方、大歓迎です。事務局・佐藤までご連絡ください。

●振り込み先は、以下へお願いします。

<ゆうちょ銀行口座>

口座番号：10130-51577221 名義：ラムサールセンター

・他の金融機関からのお振込の場合

店名〇一八（ゼロイチハチ）店番018 普通預金 口座番号5157722

<三井住友銀行口座>

下丸子（しもまるこ）支店（810）普通預金口座：0684084

名義：ラムサールセンター事務局長 中村玲子

※ 郵便振替口座は閉鎖しました。

※ 現金書留でもお受けします。請求書、領収書の必要な方はご連絡ください。

●会員拠出金のご協力者を募ります●

会員拠出金制度は、任意のボランティア団体であるRCJの基礎的活動の維持・存続のために、2002年度に設置された活動資金協力制度です。1口5万円で何口でも協力でき、受け付けは随時、協力者からとくに申し出がない限り、年度末に自動更新となります。

会員拠出金は会費とならぶ貴重な資金源であり、RCJの活動を維持、遂行するための貴重な財源です。RCJの活動へのご理解とご協力、また真のボランティア団体としてRCJを存続させるために、改めて出資、協力会員を募ります。

会員拠出金のガイドラインは以下のとおりです。協力の意思のある方は、事務局までご連絡ください。

①1口5万円で、1人何口でも受け付けます。

②受け付けは随時、年度末に自動更新されますが、申し出があれば返金されます。

③申し出があれば、年度途中でも解約に応じます。

●お問い合わせは右記のアドレスまでお願いします ramsarcj.nakamura@nifty.com